

平成18年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	経営企画課	内線等	94+1121
----	-------	-------	-----	---------

事業コード		事務事業名	関連団体会費及び補助事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け
基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	ファン、市民及び競艇場内で働く人のために
手段	交通事故防止活動に係る補助金を支出することによって
想定する成果	交通安全運転意識の高揚や交通事故防止及び違反の減少を図る。

事業の概要

(千円)

項目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
愛知県交通安全協会蒲郡支部会費	250	250	250
事業内容	交通安全運動の推進、広報資料の作成、配布、交通安全教育活動等実施	交通安全運動の推進、広報資料の作成、配布、交通安全教育活動等実施	交通安全運動の推進、広報資料の作成、配布、交通安全教育活動等実施

成果指標

成果指標名	会費割合	-
成果指標の説明	交通安全協会蒲郡支部会費/総事業費×100	-

事業の進捗状況 (モーターボート特別 会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	4.2%	3.9%	3.6%
	実績	4.1%	3.7%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	250	250	250
	人件費	804	778	789
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	1,054	1,028	1,039
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,054	1,028	1,039

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	3	2	2	交通安全思想の普及や交通事故当防止に対する活動が、市民の交通安全意識高揚に繋がっているか疑問。
経済効率性	2	2	2	2	会費を支出することによって、交通安全思想の普及及び交通事故等の減少に繋がっているかどうか疑問である。
事務効率性	2	2	2	2	交通安全思想の普及等は交通安全協会(警察)主導で行事が行われており事務量はほとんどない。
必要性	3	3	3	2	市民に対し、交通安全思想の普及や交通事故当防止に対する意識高揚のためにも必要と思われる。
小計	9	10	9	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	官、民一体の連動を展開しており、市民参加度は高いが、その割りに交通安全に対するモラルは低いと思われる。
合計	11	10	11	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額

今後改善すべき点

--

平成20年度予算に反映する項目

交通安全協会蒲郡支部会費の目的からして、その活動内容は競艇場のみでなく、蒲郡市全体に関する事業であるので、担当課である「安全安心課」への予算配当が妥当である。

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	経営企画課	内線等	94+1121
----	-------	-------	-----	---------

事業コード		事務事業名	競艇事業協力会助成事業				
根拠法令等	蒲郡市モーターボート競走場の予想業者等の予想コンクール、研修及び被服等に関する要綱		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	予想業者が
手段	レースの着順を予想し、的中させファンの購買意欲を盛り上げ、また、研修すること等に対して助成金を支出することによって
想定する成果	本場の売り上げ向上を図る。

事業の概要

(千円)

項目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
予想コンクール副賞	84	84	84
被服購入費	110	255	208
研修	1,233	1,516	1,600
計	1,427	1,855	1,892

成果指標

成果指標名	研修費助成割合	-
成果指標の説明	助成額/協力会総事業費 × 100	-

事業の進捗状況 (モーターボート競走特別 会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	49.7%
	実績	39.2%	50.1%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	1,427	1,855	1,892
	人件費	804	778	789
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	2,231	2,633	2,681
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,231	2,633	2,681

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	本場へのお客が減少しており達成度は低い。
経済効率性	2	2	2	2	業として予想はしているが、売上に繋がっているか疑問(レースの中は難しく、スポーツ紙にも予想が掲載されているため)である。
事務効率性	2	2	2	2	補助金申請に伴う事業計画書、決算書の作成指導を要する。
必要性	2	3	2	2	来客の減少、IT関連機器の発展等に伴い、スポーツ紙及びコンピューターによる予想が進んでいるため、必要性は薄い。
小計	8	9	8	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	予想業者が大きく競走事業の振興に寄与しているとは思われない。
合計	10	9	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額

今後改善すべき点

研修費の減額

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	経営企画課	内線等	1131
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	場内施設管理事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	競艇事業のために
手 段	場内各設備等の点検委託を行うことにより
想定する成果	来場したファンの快適さを維持する。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
主な委託業務	実況テレビ放送運用委託 競艇場設備管理委託 場内機器運転管理委託 昇降機設備保守点検委託	実況テレビ放送運用委託 競艇場設備管理委託 場内機器運転管理委託 昇降機設備保守点検委託	実況テレビ放送運用委託 競艇場設備管理委託 場内機器運転管理委託 昇降機設備保守点検委託

成果指標

成果指標名	委託件数	委託料総額
成果指標の説明	委託件数	委託料総額

事業の進捗状況（ モーターボート競走事業特別会計 ）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	72件	56件	-
成果指標	計画	-	-	152,034
	実績	190,920	152,601	-
事業費	事業費	190,920	152,601	152,034
	人件費	7,240	7,006	7,100
	(人数)	0.9	0.9	0.9
	合計	198,160	159,607	159,134
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	198,160	159,607	159,134

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	16評価	18評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	競技運営及びファンへの対応が支障なくできた。
経済効率性	2	2	2	2	専門的知識・技能を要する外部業者に委託し経済効果をあげた。
事務効率性	2	2	2	3	当初契約及び点検報告書等の事務処理が多い。
必要性	-	3	-	3	設備維持管理上必要である。
小計	7	10	7	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	競艇場運営に貢献している。
合計	10	10	10	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	設備等の故障を未然に防止するため今後も必要である。
------	---	---	---	---	---------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額

今後改善すべき点

単年度契約を複数年契約に移行する準備をしていく。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	経営企画課	内線等	1131
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	竹谷地区テレビ共同受信施設管理事業		
根拠法令等	蒲郡市中高層建築物指導要綱	A 法令	B 条例	C 規則	D その他

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	競艇場周辺の民家等のために
手 段	共同受信アンテナの設置及び有線ケーブルの配線をし電波障害を解消することにより
想定する成果	快適なテレビ受信を達成する。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
保守内容	年1回定期点検 加入個数 178戸	年1回定期点検 加入個数 178戸	年1回定期点検 加入個数 178戸 デジタル波測定委託

成果指標

成果指標名	受益者1軒当たりの経費	-
成果指標の説明	共同受信施設管理費 / 受益者数	-

事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別会計) (千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	1,349.3円
	実績	1,031.9円	1,002.7円	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	228	228	824
	人件費	1,609	1,557	1,578
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,837	1,785	2,402
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,837	1,785	2,402

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	3	3	現在電波障害のある民家等は全て設置している。
経済効率性	3	3	3	3	管理委託料は現状のまま推移している。
事務効率性	2	2	3	3	職員の休日に故障した場合も対応する必要がある。
必要性	-	3	-	3	市が実施する事業である。
小計	8	11	9	12	
施策への貢献度	3	-	3	-	電波障害が解消されている。
合計	11	11	12	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額

今後改善すべき点

H19年度に地上デジタル測定調査を行い、今後の方策を検討したい。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	経営企画課	内線等	94-1111
----	-------	-------	-----	---------

事業コード		事務事業名	モーターボート競走事業特別会計予算の執行管理事務事業		
根拠法令等	地方自治法・蒲都市予算決算会計規則		A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	モーターボート競走事業による収益金から市の財源（繰出金）を確保するため
手 段	特別会計予算の歳入・歳出執行状況を適宜審査、かつ予算・決算を常時的確に把握し
想定する成果	予算の適正な執行管理による競艇事業の健全経営に努める。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
予算の執行審査、監査実施回数	2回（定期、決算）	2回（定期、決算）	2回（定期、決算）
予算、決算（見込含む）実施回数	8回（当初、補正2、弾力1、決算見込4）	6回（当初、補正1、弾力1、決算見込3）	8回（当初、補正3、弾力1、決算見込3）
他会計への繰出金	312,000千円	600,000千円	1,100,000千円

成果指標

成果指標名	予算の執行審査、監査及び決算（見込を含む）の実施回数	モーターボート競走事業特別会計以外の他会計への繰出金
成果指標の説明	予算の執行状況を把握する定期、決算審査と当初、補正、弾力予算編成及び決算見込の実施回数	競艇事業開催による収益確保と健全経営への努力に対する成果指標となる他会計への繰出金

事業の進捗状況（モーターボート競走事業特別会計）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	7回	7回	7回
	実績	10回	8回	-
成果指標	計画	312,000千円	600,000千円	1,100,000千円
	実績	312,000千円	600,000千円	-
事業費	事業費	0	1,172	1,166
	人件費	10,457	6,227	6,311
	(人数)	1.3	0.8	0.8
	合計	10,457	7,399	7,477
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	10,457	7,399	7,477

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	定期的に決算見込を実施し執行状況を把握、また歳出抑制継続の中で昼夜併売に努めたことから、飛躍的に収益が向上した。
経済効率性	3	3	3	3	規制緩和による通年ナイターの開催で大きな収益が確保され、当初予定の他会計繰出金を満額執行することができた。
事務効率性	2	2	2	2	ポートピア川崎の直接運営に加え、ポートピア名古屋の昼夜通年多場発売あって、予算執行とその管理が大変煩雑になっている。
必要性	-	3	-	3	売上予測や経費見積等、競艇事業の歳入歳出予算の積算や決算見込に膨大な時間を要するものの非常に重要な事務である。
小計	7	10	7	10	
施策への貢献度	3	-	3	-	予算積算の担当別ヒアリングを実施し、恒常的歳出のより一層の節減と抑制に努めた結果、「市の財源確保」に貢献できた。
合計	10	10	10	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	通年ナイター開催による売上向上と日頃の予算執行管理による歳出抑制の相乗効果から、前年と比較してより大きな収益を確保することができた。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
決算見込の複数回実施による補正予算の編成に努めるとともに、歳出抑制の一環として常勤職員の非常勤化による人件費削減を図っている。(具体的には、事業部全体で平成11年度に職員71人中非常勤職員22人が平成18年度には70人中37人と大きく構成が変化し、予算の執行管理事務事業を担当する庶務、経理担当についても平成18年度に1人非常勤化した。)	2,720千円

今後改善すべき点

競艇事業は、発売形態の変化や昼・夜併売、他場・ポートピアとの広域発売拡大などその取り巻く環境の変化に、発売収入の内訳が毎年大きく変動している。そこで、予算・決算はもとより今後も引き続きその執行管理を厳密かつ恒常的に実施していく必要がある。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	経営企画課	内線等	94-1111
----	-------	-------	-----	---------

事業コード		事務事業名	場間場外発売受託事務事業				
根拠法令等	地方自治法第252条の14第1項		法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あるまちづくり	競艇
----------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	モーターボート競走事業による収益金から市の財源（繰出金）を確保するため
手 段	他の施行者が開催するモーターボート競走を本場（蒲郡）若しくはボートピア（川崎、名古屋）で場間場外受託発売し
想定する成果	競艇事業収入全体の収益拡大を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
場間場外発売日数	138日（単独57日、併売81日）	151日（単独50日、併売101日）	140日（単独39日、併売101日）
場間場外発売売上額	9,063,099千円	8,953,484千円	7,040,000千円
場間場外発売収益額	903,471千円	996,658千円	567,346千円

成果指標

成果指標名	場間場外発売収益額	場間場外発売収益率
成果指標の説明	場間場外発売収益額（場間場外発売総収入から同総支出を控除し、基金積立を加えた実質収益の額）	場間場外発売収益額/売上額 × 100

事業の進捗状況（モーターボート競走事業特別会計）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	540,776千円	691,575千円	567,346千円
	実績	903,471千円	996,658千円	
成果指標	計画	7.16%	8.08%	8.06%
	実績	9.97%	11.13%	
事業費	事業費	469,146	558,199	583,471
	人件費	4,826	4,670	4,733
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	473,972	562,869	588,204
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	473,972	562,869	588,204

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	2	3	2	ナイター日数の増加(100 152 180)にあわせ昼夜併売を増やしてきた(53 81 101)結果、着実な場間場外の受託発売収入を確保している。
経済効率性	2	2	3	2	昼夜併売は、単独場外と比較し少ない経費である程度の売上と収益が見込まれ効率的である。しかし、併売によるナイターレース自場売上の向上という相乗効果は客層の違いからあまり期待できない。
事務効率性	3	3	3	3	従来は本場との精算(開催経費の算出と収益計算)に多大な時間を要したが、昨年秋から場間場外発売精算システムが稼動したことにより大幅に短縮、事務の効率化が図られた。
必要性	3	3	3	3	蒲郡競艇では、平成18年度のオールナイター化により、既存高齢者ファンに対するサービスの一環として複数の魅力あるデイレースを提供(併売日数の増加)し、それなりの効果を得ている。
小計	11	10	12	10	
施策への貢献度	3	-	3	-	市の財源確保という観点から、収益確保に大きく貢献している。
合計	14	10	15	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	競艇を取り巻く環境は日本経済の移り変わりとともに大きく変化している。従来型の自場発売のみによる収益確保が大変厳しい状況の今日、場間場外の委託若しくは受託といった広域発売の積極的展開による全体としての収益確保が今後益々重要視される。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
場間場外の受託発売日数をできる限り増やして(単独49併売53計102 単独57併売81計138 単独50併売101計151)きた。特に昼夜併売は経済効率性が高く確実な収益確保が見込まれることから最大限の発売日数を確保するよう努力している。	

今後改善すべき点

平成20年度予算に反映する項目

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	経営企画課	内線等	97-1143
----	-------	-------	-----	---------

事業コード		事務事業名	臨時従事員開催日勤務事業		
根拠法令等	蒲郡市モーターボート競走事業臨時従事員の就業に関する規則外		A 法令	B 条例	①規則 ②その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡競艇場におけるレース開催日の臨時従事員を
手 段	規則等に基づき適正な労務管理をすることにより
想定する成果	円滑なレース開催に資する。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
臨時従事員数	420人	308人	284人
自場開催日数	180日	180日	186日
臨時従事員費	1,358,764千円	819,121千円	817,846千円

成果指標

成果指標名	臨時従事員数	自場開催1日当りの臨時従事員費
成果指標の説明	年度当初の臨時従事員数	臨時従事員費 / 自場開催日数

事業の進捗状況（モーターボート特別会計）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	284名
	実績	420名	308名	-
成果指標	計画	-	-	4,397
	実績	7,549	4,551	-
事業費	事業費	1,358,764	820,762	819,478
	人件費	10,457	9,341	9,467
	(人数)	1.3	1.2	1.2
	合計	1,369,221	830,103	828,945
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,369,221	830,103	828,945

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	14評価	18評価	14評価	
達成度	2	2	2	2	離職者不補充、基本賃金引下げにより、賃金総額は抑制できたが、本場売上は引き続き下降線を辿っている。
経済効率性	2	1	2	1	本場1日当り従事員費は、17年度の60%に削減できた。本場売上が低迷する中、更なる従事員費の削減が必要。
事務効率性	2	2	2	2	従事員の事務効率をさらに高めるため、従事員1人当りの自販機取扱台数(4台 5台)を検討すべきである。
必要性	-	3	-	3	臨時従事員の労務管理は事業主が行う事務である。
小計	6	8	6	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	業界全体の流れの中で、本場売上の低下は或る程度しかたないと思われるが、未だ本場の下げ止りが見えない。
合計	8	8	8	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	手当の見直し、日額賃金の見直し、従事員数の削減により従事員費の削減は進捗しているが、本場売上の下げ止りが見えないため、従事員費の更なる削減策を検討し、より効率的な運営が求められる。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項		経費の縮減額
希望離職の募集	平成15年度12人、平成16年度18人、平成17年度81人	(千円)
手当の見直し	特定日出勤手当、特別手当	手当の見直し 156,222
日額賃金見直し	H18.6.1 9,400円 9,038円、 H19.4.1 9,038円 8,638円、 H18.6.1ヶ月-手当 1,300円 1,000円	日額賃金見直H18 60,597 日額賃金見直H19 89,812

今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・場内班部署の見直し。 ・従事員の自動販売機取扱い台数の見直し。(4台/1人 5台/1人に変更) ・併売時の従事員の勤務体制の見直し。 ・期末手当の基礎額(基本賃金+5000円)の見直し。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】